

令和8年度ドック申込の際の注意事項

1 はじめに

- (1) ドックは原則年間一つのみ受診できる。**複数のドックを重複して受診することはできない。**
- (2) 昨年度からの変更点については、申込締め切り及び受診開始日が2週間後ろ倒しになったこと、自己負担金額が変更になったこと、白鷹町立病院の一泊二日ドック・日帰りドックが実施不可となったことである。詳細は、1Pの「令和8年度ドック事業の実施について（通知）」の「2 令和7年度との変更点」を参照すること。

2 申込みについて

- (1) 受診日を選ぶ際は、受診日決定後に変更やキャンセルとなることがないように、公務等の日程を確認のうえ申込をすること。
- (2) **組合員番号、生年月日は正確に記入すること。誤った番号を記入すると、エラー扱いとなり選考処理から除かれることがある。**
また、**組合員手続きが完了していない又は手続き直後の場合は、エラー扱いとなり選考処理から除かれることがある。**
- (3) **申込み後、住所の変更があった場合は、至急異動届（福利厚生の手引 総則-71）を支部あて提出すること。**（受診確定後に健診機関から送付される書類等が届かなくなる場合がある。）

3 選考について

- (1) 選考においては、年齢・ドック受診歴（過去5年分）及び勤務地等を考慮し選考するが、申込状況によっては、希望する日程・健診機関にならない場合がある。
- (2) **一泊二日・二日間（通い）人間ドックを希望した指定年齢型の該当者（※令和8年4月1日現在、39歳、49歳、54歳の者）については、原則として必ず受診が決定するものとする。**なお、指定年齢型の該当者が上記以外のドックに申込んだ場合、必ず受診が決定するとは限らない。

4 定期健康診断との関係

県教育委員会所属の組合員で指定年齢型の該当者（※令和8年4月1日現在、39歳、49歳、54歳の者）が令和8年6月1日から12月31日までに人間ドックを受診する場合は、所属で実施する定期健康診断を免除することができる。ただし、脳ドックの場合は、一部の病院を除き、免除とならない。

それ以外の組合員における人間ドック受診による定期健康診断免除の取扱いについては、各自所属する教育委員会に確認すること。

5 特定健康診査の実施

40歳以上の組合員を対象に実施する特定健康診査は、所属所で行う定期健康診断において併せて実施することになっているが、当支部が実施する人間ドック【一泊二日・二日間（通い）、日帰り】、脳と心のトータルケア付人間ドック、脳ドック（篠田総合病院・三友堂病院）及び内視鏡付（東北中央病院）人間ドックを受診した組合員も、その受診をもって特定健康診査の受診に代えることができる。

6 婦人がん検診との関係

- (1) **原則人間ドック（脳ドック以外）には婦人がん検診が含まれているため、重複して受診できない。**
庄内余目病院の二日間（通い）人間ドック、三友堂病院の一泊二日・日帰り人間ドック（35歳以下）の場合は婦人がん検診が含まれていないので、重複受診が可能である。

庄内余目病院の二日間（通い）人間ドックに当選した女性組合員は子宮がん検診・乳がん検診、三友堂病院の一泊二日・日帰り人間ドック（35歳以下）に当選した女性組合員には、乳がん検診の受診券を発行します。

但しこの場合、「令和8年度婦人がん検診」の受診要件が優先されるため、乳がん検診の受診券の発行は、30歳以上かつ偶数年齢の者に限定します。

- (2) 脳ドックの検査項目には婦人がん検診が含まれていない。

脳ドックに当選した女性組合員には、子宮がん検診・乳がん検診の受診券を発行します。

但しこの場合、「令和8年度婦人がん検診」の受診要件が優先されるため、乳がん検診の受診券の発行は、30歳以上かつ偶数年齢の者に限定します。

- (3) **ドックが選考もれとなった場合、婦人がん検診の受診券が発行される。**

但しこの場合、「令和8年度婦人がん検診」の受診要件が優先されるため、乳がん検診の受診券の発行は、30歳以上かつ偶数年齢の者に限定します。

7 脳と心のトータルケア付人間ドック及び脳ドックについて

- (1) 次のものは検査の内容上受診ができない場合がある。

ア 閉所恐怖症の者

イ 次のものを体内に入れている者

心臓ペースメーカー、人工心臓弁、人工関節、動脈瘤（止血）クリップ、血管内ステントフィルター、人工内耳、インプラント、その他磁場性物質 等

なお、脳と心のトータルケア付人間ドックにはカウンセリングが含まれる。受診希望者は、原則カウンセリングも受けることを前提として申込みをすること。

- (2) 令和7年度脳ドック又は脳と心のトータルケア付き人間ドックを受診したものは、脳ドックの申込みの対象とならない。

8 内視鏡検査について

選考もれとなり、東北中央病院の一泊二日ドックに決定した場合、決定日時等の状況によっては、胃部内視鏡検査を自己負担にて受診することができる。この場合、その実施の可否も含め、同病院から事前に送付される「受診案内」を踏まえて各自調整を行うこと。なお、大腸（全腸）内視鏡検査は受診不可。

9 その他の人間ドックのオプション検査について

オプションのうち、喀痰細胞診（肺がん検査）及び骨密度検査を希望する対象者は、全額支部負担で受診することができる。

また、ピロリ菌検査を希望する対象者は、検査料金（税込）のうち500円（税込）の自己負担で受診ができる。（初診の方のみ）

※ 脳ドックのオプション検査（喀痰・骨密度・ピロリ菌）については、全額自己負担となる。

※ 三友堂病院及び舟山病院の一泊二日・日帰りコースでは、バリウムを内視鏡に変更可能である。受診決定後に「所属内個人用希望調査票」を配布するので、そちらを記入し、提出すること。（内視鏡検査を希望した場合、病院の受入れ体制等によりドックの受診日の変更をお願いする場合があります。）

※ 県立中央病院の日帰りコースでの受診が決定した方については、病院あてに提出する書類があるため、受診決定後に配布する「調査票（県立中央病院用）」を記入し、支部あてに提出すること。

※ 各ドックのオプションについて、別添の各検診項目表に記載していないものに関して知りたい場合は、各自希望する健診機関へ問合せを行うこと。